



作成日 2010/08/23
改訂日 2018/04/01

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 RAクロス(GHS)
製品コード CE-F02-1392
供給者の会社名称 宇部興産建材株式会社
住所 東京都港区芝浦1-2-1 シーバンスN館
電話番号 03-5419-6206
FAX番号 03-5419-6265

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類基準に該当しない

GHSラベル要素

注意書き 予防策

粉じんを吸入しないこと。(P260)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

対応

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
目の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)

保管

取り扱った後、手を洗うこと。
日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。(P410+P403)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリエチレンテレフタレート	70～80%	不明	(7)-1022	公表	25038-59-9
アクリル酸エステル共重合体	20～30%	不明	6-186	公表	

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
溶融物の場合は直ちに大量の清浄な水で冷やす。
皮膚上の固まった樹脂は無理にははがさず、医師に診断を受ける。

眼に入った場合

直ちに清浄な水で5分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

特有の危険有害性

水、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤
不完全燃焼が起こると、一酸化炭素が発生しうる。
発生ガス(アセトアルデヒドなど)を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

風上から、水や二酸化炭素等により消火する。

消火を行う者の保護

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。
必要に応じて保護具(保護用手袋、保護用マスクなど)を着用し、皮膚への付着、眼、口への侵入を防ぐ。

環境に対する注意事項

環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

箒や掃除機等で全量回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

常温での引火性はないが、近くで火気を使用しない。

安全取扱注意事項

粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは、換気を十分行う。

ロール状物は重量物のため、落下しないように注意する。

保管

安全な保管条件

消防法指定可燃物であり、市町村条例に従う(消火設備、屋内貯蔵、取扱所など)。重量物のため荷崩れを防ぐ。強酸化剤、濃硫酸、フェノール類と隔離して保管する。

安全な容器包装材

最初の容器内でのみ保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

呼吸器の保護具

粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい。
シートによる擦過傷を防止する為に保護手袋を着用する。

手の保護具

眼の保護具

粉塵が多い場合は保護眼鏡の着用が望ましい。
シートによる擦過傷や、溶融を伴う作業等では保護儀を着用する。

皮膚及び身体の保護具

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

固体

臭い

形状

固体(シート)

臭いのしきい(閾)値

色

白色

pH

わずかな臭気

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

255-260°C PET

引火点

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲

下限

データなし

上限

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重(密度)

データなし

1.35-1.4g/cm³ (23°C)

溶解度

データなし

n-オクタノール/水分配

水に不溶

係数

データなし

自然発火温度

データなし

分解温度		480°C以上
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		常温、単独では安定である。
危険有害反応可能性		溶融などの高温では一部熱分解する。着火源があれば燃える。
避けるべき条件		高熱、炎。
混触危険物質		強酸化剤。
危険有害な分解生成物		溶融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド、ホルムアルデヒド等を発生する。
11. 有害性情報		情報なし
12. 環境影響情報		情報なし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 残余廃棄物と同じ。
汚染容器及び包装		
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code	該当しない Not applicable Not applicable
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報	該当しない 該当しない 該当しない 非該当 非該当 非該当
15. 適用法令		
消防法		指定可燃物、合成樹脂類

16. その他の情報
記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものですので、特別な手扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

※SDSは、有害な化学物質について、人の健康や環境への悪影響をもたらさない様に情報提供するものです。SDSの提供は、例外的に、固形物(成形品)については、提供しなくてもよいとされており、本製品は対象外となります。自主的な判断で情報公開をさせていただきます。